

| | | | |
|-----------|-------------|-------|-------|
| 講義名 | 日本語C【留学生科目】 | | |
| 科目区分 | 留学生科目 | | |
| 担当教員 | 福井 淳子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 火曜日 4時限 | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 24018 |

主題と概要

一口に文章と言っても、感想文やエピソード文といった主観性の高いものから、説明文や意見文といった客観性の高いものまである。両者の違いをしっかりと意識しながら、本授業ではレポート及び卒業論文執筆につながる、より客観性の高い文章を書くための技術を学習する。

到達目標

事実を正確に伝えたり、自分の意見を論理的に伝えることができる。レポートや論文執筆のための基礎知識を身に付ける。

提出課題

授業内で指示する。

評価の基準

期末試験は実施しない。
授業内で行う復習テスト（40%）、課題の提出（40%）、授業参加度（20%）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠は毎回とる。 2. 全授業のうち5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。 3. 遅刻3回で1回の欠席とする。また、15分以上の遅刻は欠席となる。 4. 授業時には必ず辞書を携帯すること。 5. 授業および課題には真面目に、積極的に臨むこと。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリント資料を配布する。『小論文への12のステップ』友松悦子著 スリーエーネットワーク 『留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子他著 スリーエーネットワーク 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』石黒圭他著 スリーエーネットワーク

授業計画

1. イントロダクション：授業の進め方および注意事項、評価方法等の確認 / 表記方法の確認 2. さまざまな文体 3. 書きことばとは 4. レポート・小論文にふさわしい表現を考える 5. 段落を作るとは 6. 要約文を書く 7. 説明文を書く 8. 説明文を書く 9. 意見文を書く 10. 意見文を書く 11. 事実の示し方 12. 事実の示し方 13. 事実の示し方 14. 小論文の構成 15. 総復習

予習・復習

本授業での学習をより効果的なものにするためには、論理的な文章を読むことが不可欠である。新聞記事（社説・コラムなど）を毎日読むこと。時間は2～30分で構わない。ただし、毎日続けることが大切である。未習語彙を調べれば、語彙力のアップにもつながる。また、宿題を課した場合はしっかりと取り組むこと。

備考